

# 総合単元的な道徳学習の実践(第3学年)

吉田町立本名小学校 田中穂純

## 1 総合主題名 生命あるものを大事にする

### 2 総合主題について

#### (1) ねらい

生命はかけがえのないものであることを自覚し、人間はもちろん、動植物など生命あるものを思いやり大切にしようとする心情を育てる。

#### (2) 設定の理由

この期の子どもたちは、生命は一つしかなく、生命が失われたときが死であり、二度と生き返ることはないことをよく理解している。日常生活の中でも、家庭で動物を飼ったり、花を育てたりする中で、動植物の生命の大切さを感じている。しかし、自分の生命の大切さについて深く考えたり、友達や他の生命あるものの大切さについて考え、思いやりを持って接したりすることは少ない。また、自分の健康を守ること、自他の安全に気をつけることなども生命を大切にすることと関係があるという認識も十分ではない。

そこで、生命の大切さについて、学級活動「学級園の花を育てよう」や学校行事「避難訓練」や各教科等の指導と関連を図りながら、総合的に指導することで、生命の大切さについて考えさせ、生命あるものを思いやり尊重することの大切さに気づかせることができると考え、本総合主題「生命あるものを大事にする」を設定した。

#### (3) 展開の構想

本総合主題「生命あるものを大事にする」を展開するに当たって、次のような構想を立て展開していくものである。

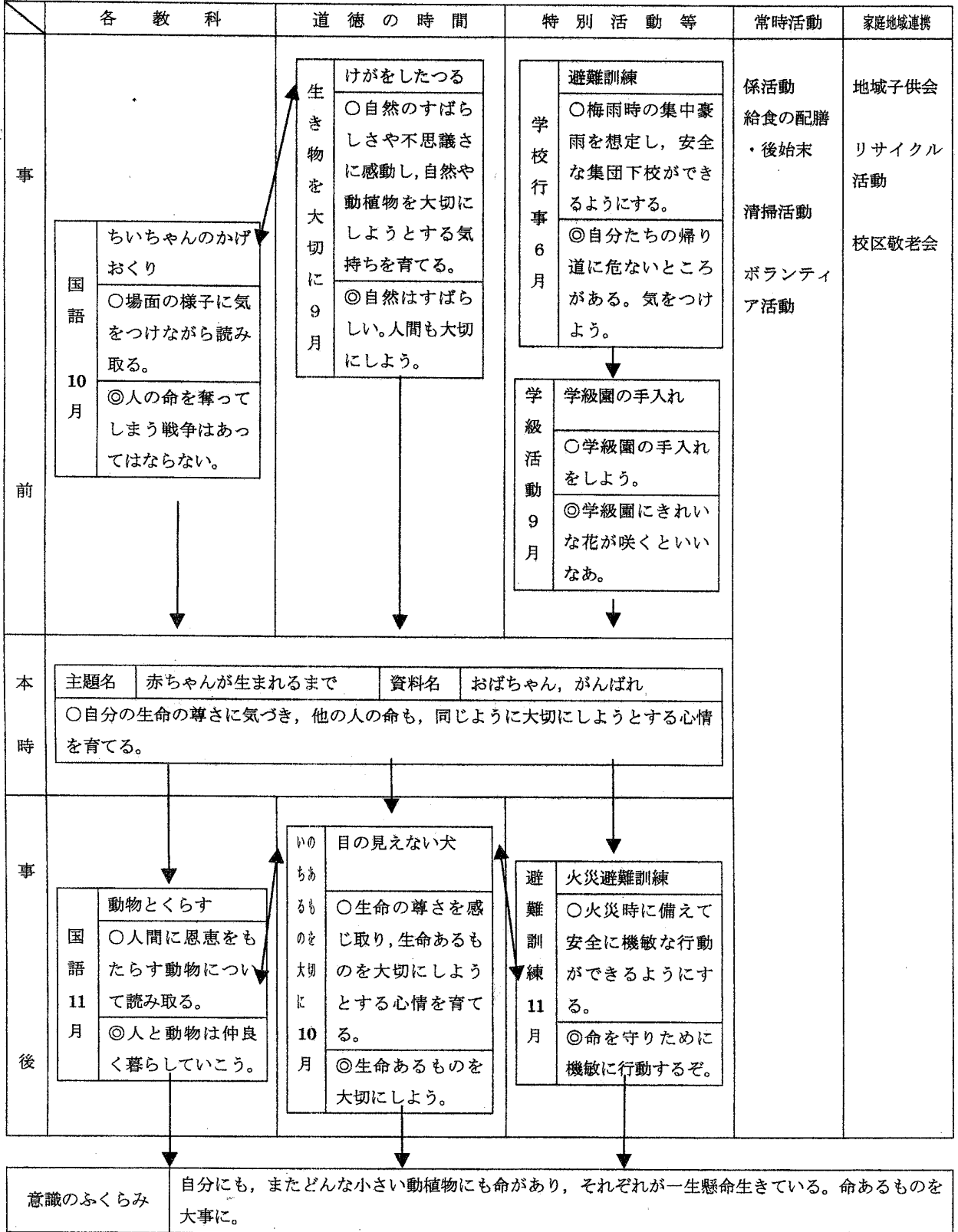
まず、6月学校行事「避難訓練」では、水害から生命を守るための訓練であることを自覚し行動できるようにしたい。次に、9月学級活動「学級園の花を育てよう」では、学級園や一人一鉢に花を植え世話をすることで、植物にも生命があることを感じ取ることができるようになりたい。また、10月国語科学習「ちいちゃんのかげおくり」では、生命で結ばれた家族の強い心の絆を読み取ることができるようになりたい。

以上の活動を補充・深化・統合する道徳の時間では、総合主題「生命あるものを大事にする」に関わる「3-②生命尊重」を中心指導内容項目として学習を展開する。

さらに、道徳の時間に学習したことを生かす場として、11月学校行事「避難訓練」では、火災や地震から生命を守るための訓練であることを自覚し行動できるようにしたい。また、11月国語科学習「動物とくらす」では、生きているもの、生命あるものと触れ合うことで、心の中の穏やかさややさしさを引き出すことができるといった気持ちを育てるようにしたい。

(4) 展開の構想図

教科名	単元名 ○ねらい ◎意識の ふくらみ	主題名	資料名 ○ねらい ◎意識の ふくらみ	領域名	活動名 ねらい ◎意識の ふくらみ	総合単元名	命あるものを大事にする
	ねらい		生命の本当の意味や生命の尊さを 感得させる。				



### 3 本 時

- (1) 主題名 赤ちゃんが生まれるとき (3-②生命尊重)  
 資料名 おばちゃん, がんばれ (出典 学習研究社)

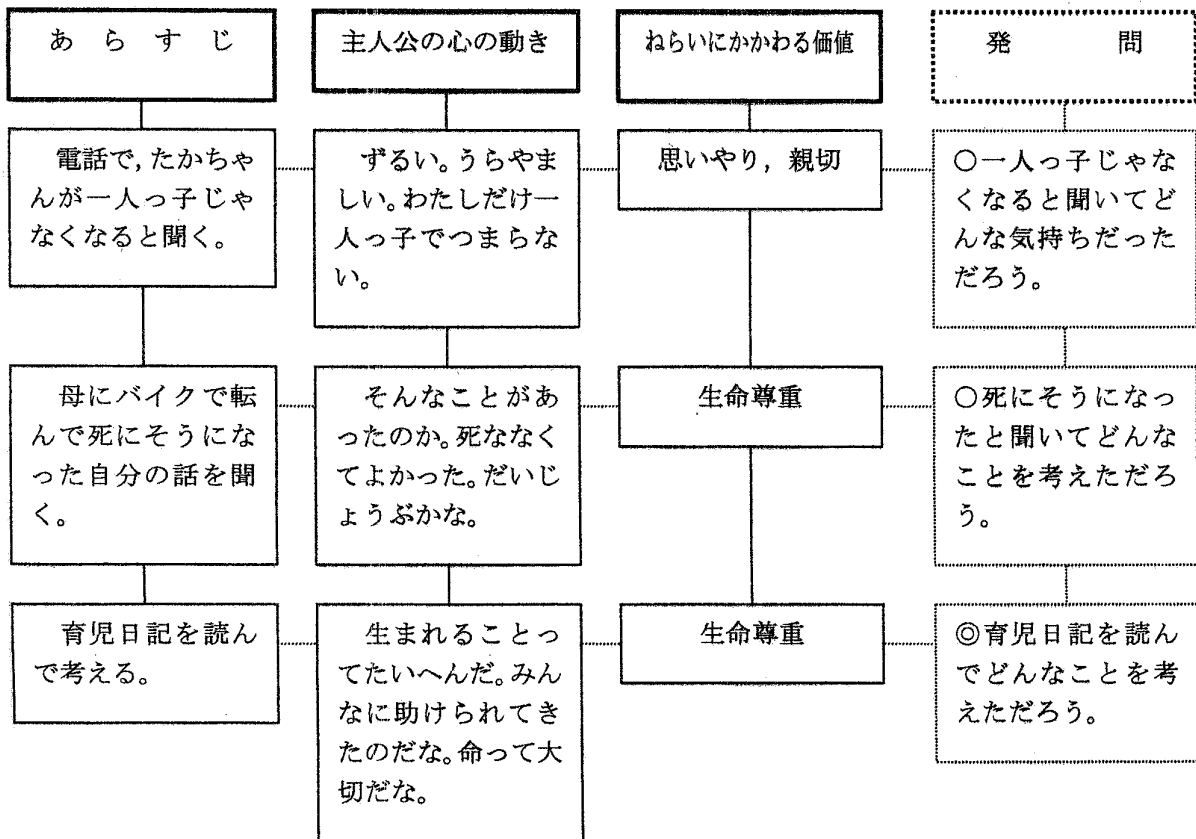
(2) 主題について

ア 主題の価値

本主題における道徳的価値は、「生命尊重」である。「生命尊重」とは、すべての生命に対する畏敬といとおしきの心を基底としている。人間の誕生の喜びや死の重さ、生きることの尊さを知ることから自他の生命を尊重し力強く生き抜いていこうとすることである。

この時期の子どもたちは、行動的で活発なことができる反面、衝動的な行動が多く、周りの人々に心配や世話をかけることもしばしばある。生命がどんなにかけがえのないものであるか、考えられていけるようにしたいと考える。そこで、自分の生命を大切にすると同じように、他人の生命も大切にしなければならないという態度を持つようにさせたいと考え、本主題を設定した。

イ 資料について (○：補助発問 ◎：中心発問)



本資料では、新しい生命の誕生を通して、自分の生命はまわりの人々によって守られてきたことを知り、そこで初めて、他の人の生命に対しても、尊重しようとする主人公が描かれている。その主人公に共感させることにより、自分の生命、他人の生命の尊さをいっそう深く考えさせた。

ウ 指導に当たって

指導に当たって、つぎのことに留意していきたい。

「つかむ」段階では、今までの自分を振り返り、本時でねらう道徳的価値である生命尊重への課題意識をもつことができるようにする。

「みつめる」段階では、「わたし」の気持ちの変化をワークシートに書いたり、役割演技をさせたりすることで、「わたし」の心情に共感させ、自分の生命、他人の生命の尊さを感じ取らせ

ていきたい。

「ふかめる」段階では、これまでの自分を振り返り、これからの自分へと意識を向けるようにしていきたい。また、友だちと感想を言い合うことで、価値の内的自覚をすることができるようにしたい。

「ひろげる」段階では、生命の大切さが伝わるような話を紹介し、実践への意欲を高め、余韻をもって終わるようにしたい。

(3) 実 際

過程	主 な 学 習 活 動	教 師 の 支 援	準備資料
つかむ 7分	1 自分が生まれてきたときの周りの人の気持ちについて話し合う。  2 学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">生まれるってどんなことだろう。</div>	○ 今までの自分を振り返り、自分や他人の生命の大切さに目を向けることができるようにする。	実態調査結果
みつめる 30分	3 資料「おばちゃん、がんばれ」を読んで話し合う。 (1) たかちゃんが一人っ子でなくなると聞いたときのよっちゃんの気持ちを考える。 ・ たかちゃんは、ずるい。いいな。 (2) お母さんがバイクで転んで、自分が死にそうになった話を聞いたときのよっちゃんの気持ちを考える。 ・ 死ななくてよかった。 ・ 赤ちゃんは大丈夫だろうか。 (3) お母さんの育児日記を読んだときのよっちゃんの気持ちを考える。 ・ 人が生まれることは、大変なことだ。 ・ 生命って大切なんだ。	○ 一人一人が主体的に資料にかかわっていけるように初発の感想を大切ににする。  ○ 役割演技をさせることで、主人公の気持ちに共感させていく。  ○ 「死ななくてよかった」などの発言には、どうしてなのか切り返して聞いていく。  ○ ワークシートに書かせることで、一人一人に十分考えさせる。 ○ 育児手帳などから、自分を見守る親の真の愛情を感じ取らせたい。	朗読テープ 場面絵 ワークシート
ふかめる 5分	4 これまでの自分を振り返り、考えたことを発表する。 ・ これまで生命の大切さをあまり考えなかったけど、これからは気をつけて行動したい。	○ これまでの自分を振り返らせ、大切にしていきたい考えや気持ちを十分引き出せるようにする。	
3ひらける	5 先生の説話を聞く。	○ 多くの人の命が救われている話の紹介を通して、実践への意欲を高めていくことができるようにする。	